

まちづくり交付金 事後評価シート
飯山中心市街地地区

平成22年3月

長野県飯山市

都道府県名	長野県	市町村名	飯山市	地区名	飯山中心市街地地区			面積	301ha
交付期間	平成17年度～21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	2,319百万円	国费率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	事業名												
		基幹事業	高質空間形成施設(植栽)、土地区画整理事業、公営住宅等整備											
	提案事業	まちづくり支援事業、公営住宅団地快適事業、都市空間デザイン調査、在来線駅移設統合調査、寺町「蔵」活用調査、フラワーロード事業、花街道事業支援、雪と寺の町アートミュージアム事業支援												
	当初計画から 削除した事業	事業名					削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		基幹事業	下水道事業					下水道事業採択基準(国庫補助対象施設)要件に満たないため				影響なし		
		新たに追加した 事業	基幹事業	市道改良事業 高次都市施設(寺町交流館)					新幹線関連道路整備に併せ接続する道路改良が必要となったため 回遊性のあるまちづくり拠点施設整備により市街地の活性化を図るため				回遊性のあるまちづくりに影響するが、指標・数値目標は据え置く	
提案事業	土地区画整理事業 下水道事業 在来線駅移設事業					市単独費対応の家屋移転補償等について事業促進のため追加 基幹事業で予定していた事業の移管のため 在来線駅移転に伴い新幹線駅と統合し利便性の向上を図るため				影響なし				
交付期間 の変更	当初	平成17年度～20年度 <th colspan="2" rowspan="2">交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響</th> <td colspan="5" rowspan="2">指標目標年度の変更以外影響なし</td>			交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響		指標目標年度の変更以外影響なし							
	変 更	平成17年度～21年度												
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	地区内店舗数の増加	店舗	160	H16	170	H21		140	×	あり なし	●	回遊性のあるまちづくりに係る事業を実施しているが、効果が現れるところまで至っておらず、既存商店街の空洞化に歯止めがかかる状況になっていない。	平成22年4月頃
	指標2	観光案内所の利用者数	人/年	11,912	H16	14,000	H21		10,800	△	あり なし	●	観光案内機能の分散により数値の把握ができず指標には現れていないが、目標値の達成はできないものの地区内の観光案内利用者は従前値を上回っていると推測される	平成22年4月頃
	指標3	居住世帯の増加	世帯	2,020	H14	2,050	H21		2,051	○	あり なし		基幹事業・提案事業における公営住宅の建設や市単独事業で実施した民間アパート建設補助により、ハード整備が進み、居住世帯が増加した。	平成22年4月頃
指標4	駅周辺整備についての満足度の向上	—	3.57	H16	3.92	H21		3.50	×	あり なし		駅周辺整備は計画期間が平成25年度までであり。区画整理事業は家屋移転、道路築造が施工中である、他の事業は設計や計画の段階であるため事業の全体像が市民の目に見えてこない状況である。		
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度※1	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	地区周辺世帯数の増加	世帯	597	H14				649				狭隘道路の解消、流雪溝・消雪パイプ設置、下水道整備により生活基盤が改善され、区域内の花、木による修景などまちづくりが進められたことにより、区域周辺の世帯数も増加した。	平成22年4月頃
その他の数値指標2	灯籠まつり来場者数の増加	人	2,000	H17				13,000				地場産伝統工芸品である内山紙を使用した灯籠まつりが開催され、飯山の夏の風物詩として定着し、中心市街地の賑わいを創出するイベントとなった。		
4)定性的な効果 発現状況	・提案事業の対象事業であった地場産伝統的工芸品である「内山紙」を活用した「和紙のしごと大賞コンペティション」は、応募作品を商店等に展示し、買い物客が作品をきっかけに立ち寄る機会が増えるなど商店街の賑わいの創出に一定の効果がみられた。コンペティション事業終了後、内山紙を使用した灯籠による祭りが地元商店街が中心となり開催され、飯山の夏の風物詩として定着してきている。21年度には来場者数が1万人を超えるイベントとなっており、行政主導から始まった事業が民間(地元商店街)主導へ移行されたことにより、中心市街地がより賑わうなど指標には現れない効果も発現してきている。また、中心市街地にある広場の一角において地元の商店街による地場産品・農産物等の露天市が定期的に開かれ、地元住民を中心に多くの買い物客で賑わっており、民間主導による新たな事業により中心商店街の活性化も図られている。													
5)実施過程の評価	実施内容						実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた							
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加 プロセス	土地区画整理事業権利者からなる新幹線駅周辺整備権利者会 飯山市景観形成推進協議会					都市再生整備計画に記載し、実施できた							
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			● 今後も飯山中心市街地地区の花修景や新幹線飯山駅周辺における景観については協議会の意見を聞き事業を推進する..				
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
持続的なまちづくり 体制の構築	土地区画整理事業権利者からなる新幹線駅周辺整備権利者会					都市再生整備計画に記載し、実施できた								
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			● 今後も権利者会と市の協働による魅力あるまちづくりを推進する。					
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

飯山中心市街地地区(長野県飯山市) まちづくり交付金の成果概要						
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標 豊富な自然や歴史的資源の中で地場産業を活かした事業を展開し、既存商店街に元気と活力を呼び戻すと共にその ノウハウを蓄え、概ね9年後に開業を迎える新幹線飯山駅との経済相乗効果をねらう。 テーマ:『いいやまの宝を楽しく伝えるまちづくり』 目標1. 自然や風景、歴史・文化を大切にし、歩く楽しみのあるまちの創出を図る。 目標2. 少子高齢化社会を鑑み、住む人が幸せに暮らせるまちを目指す。 目標3. 北信州の玄関口として人・モノ・情報が交わり、温かいもてなしと賑わいのあるまちの確立を目指す。		地区内店舗数の増加	単位: 店舗	160 H16	170 H21	140 H21
		観光案内所の利用者数	単位: 人/年	11,912 H16	14,000 H21	10,800 H21
		居住世帯の増加	単位: 世帯	2,020 H14	2,050 H21	2,051 H21
		駅周辺整備についての満足度の向上	単位: —	3.57 H16	3.92 H21	3.50 H21